

H24.7/1（日） 兵庫県立有馬富士公園視察について（案）

1. 公園の概要

（1）沿革

阪神間における広域のかつ多様化するレクリエーションの需要に対応するため、「人と自然」「人と人」「人と文化」が触れあうことができる、「自然体験型の文化公園」をテーマとした広域都市公園が平成元年3月に計画決定された。

全体計画面積：416.3ha

（2）整備方針

公園のメインエントランスのみならず、北摂地方の豊かな自然への導入部の役割を果たすため、人が集い、自然との交流の場を提供する。そのため公園のシンボルである有馬富士と麓の福島大池とその水辺の景観を保全し、さらにこの周辺を含む豊かな自然を観察フィールドとして整備された。加えて三田市立有馬富士自然学習センター、県立人と自然の博物館、更に住民の直接の参画をも得て、「みんなでつくるふるさと公園」を基本コンセプトに整備をさらに進めていく。



2. 視察での見どころ

（1）有馬富士公園運営・計画協議会

当公園は県立公園としては初めてとなる「県民の参画と協働」による公園運営を行うため、県、人と自然の博物館、三田市、学識経験者、NPO、住民（公募及び住民活動グループ委員）及び指定管理者で構成する「協議会」を設置し、協議会の助言を得ながら住民とのパートナーシップによる公園づくりを目指している。

「協議会」では、その具体的な展開のため、以下のような内容について検討し実践している。

- ア 公園における具体的な管理運営計画について
- イ 住民参画のための具体的な方策について
- ウ 当公園とその他の施設とのネットワークについて

※ワーキンググループとして、「場所づくり部会」「コーディネーション部会」を設置。

(2) 住民参画のしくみ【ありまふじ夢プログラム】

住民グループが公園を舞台に主体的に自主企画運営する事業で、実施プログラムが協議会の認証を受け、協議会共催プログラムとして実施している。協議会は、施設や備品の利用、広報などの面でサポートをしている。

類型	プログラム	実施場所
イベント	水辺の生物ウォッチング、親子で楽しむキノコ学校、お百姓さん大募集、カブトムシの幼虫を探したい、太陽の観察、竹でつくる簡単クラフト、棚田で遊ぼう、チェロとピアノのコンサート、天文観察会、生き物観察会、まあ一煎おあがり、フルートコンサート、みんなで楽しむ春色だんご・・・など	公園内全域 水辺の生態園 築山広場 棚田 かやぶき民家 多目的ホールなど
調査研究	ヒメカンアオイの保護活動、棚田の生物生息調査、私の木の観察、・・・など	棚田とその周辺
維持管理	棚田で遊ぼう年間管理、わくわく田んぼ、かやぶき民家の維持管理、里山保全管理・・・など	棚田・里山など

(3) ありまふじクルー講座

公園管理にかかる住民の人材育成とグループ化を目指して開講した。

(4) クルー・ステップアップ講座

クルー修了者や夢プログラム実施スタッフを対象として、公園をもっと知ってもらうことと、グループ間の横の連携強化を図るためのステップアップ講座も開催している。

(5) ありまふじフェスティバル

日常的に行われている住民企画のプログラムを集めて公園各所で開催するフェスティバルを、住民有志とともに、実行委員会を結成し、毎年春と秋に開催している。

(6) 夢プログラム屋台村

夢プログラムを実施している人々の活動紹介や発表をする場として、まだ、グループ同士の交流を図るために、年度末に、屋台村を開催している。